



歳入 492億1610万円 対前年 12.0%減
歳出 477億1485万円 対前年 12.7%減

平成23年度の歳入歳出決算額は上記の通りです。当初予算49億2千万円に、9回の補正で、予算現額は517億4千4百万円となり、当初予算額に対して5.6%増となりました。

歳入決算額の主な内容は、市税全体では、固定資産税、たばこ税など2億4千9百万円の増ですが、地方譲与税、自動車取得税交付金が3千百万円の減でした。

当初予算額に対し18%増の154億7千百万円で対前年度3.3%増です。歳出は153億5千4百万円で対前年度3.4%増です。

予算現額に対する収入割合は95.1%、歳出執行率は92.2%であり、乖離については、県からの市町村復興まちづくり交付金関連や普通建設事業の翌年度への繰り越し等によるものです。次年度への繰越金は15億百万円(翌年度繰越明許額2億7千百万円)となりました。

国保加入の63%が200万以下の低所得高い国保税の声

歳出決算の主な内容

| | |
|--------------|-------|
| 民生費 | 34.0% |
| (162億3400万円) | |
| 土木費 | 17.2% |
| 教育費 | 11.3% |
| 総務費 | 11.0% |
| 公債費 | 10.5% |

地方交付税は、対前年度5億5千9百万円の増で、国庫支出金全体では対前年度3億7千百万円の減でした。

第3回古河市議会定例会

平成24年度第3回古河市議会定例会は9月4日(16日間)の日程で開催され、諮問2件、報告9件、議案16件と認定15件、請願1件が審議されました。特に、平成24年度一般会計補正予算などの議案をはじめ、平成23年度の歳入歳出

今回も決裁権者(市長)欠席の決算特別委員会II 一般会計・特別会計

日本共産党 あきば繁の市議会報告

2012年10月 N.0. 6 発行者 古河市議会議員 あきば 繁 茶屋新田71-4 TEL 48-2139

消費税増税反対! 原発ゼロの日本へ

消えた義援金、見舞金?

一般会計 総務費 諸収入

- 茨城県市町村振興協会災害見舞金
 - 茨城県市町村振興協会災害支援金
 - 茨城県市長会義援金
 - 茨城県義援金配分委員会義援金
 - 市町村振興協会震災復興宝くじ交付金
 - 全国市町村振興協会災害対策支援金
 - 茨城県国民健康保険団体連合会震災支援金
- など 13件 1億2700万円

義援金・見舞金が被災者に届かず 災害対策で消えた

「全国からの義援金・見舞金は、すべて災害対策で使いました」本来、災害対策委員会で被災者が、復旧か、配分を検討すべきもの。「財政ひっ迫で、すべて災害対策に使った」では、暖かい心届かず。

古河駅東部・片田南西部二両「区画整理」事業 保留地処分金はわずか→繰入金・市債(借金)頼み

古河駅東部土地区画整理事業(歳入)(主なもの)

| | |
|---------|-----------|
| 保留地処分金 | 2,722千円 |
| 公共施設負担金 | 4,900千円 |
| 国庫補助金 | 120,339千円 |
| 県補助金 | 41,076千円 |
| 一般会計 | 31,954千円 |
| 繰越金 | 63,972千円 |
| 市債(借金) | 303,700千円 |

(歳出)

| | |
|-----|-----------|
| 土木費 | 522,252千円 |
| 公債費 | 24,431千円 |

※ 国・県補助金は、当初予算より△86,456千円です。

「古河駅東部土地区画整理」事業は、当初目的の住宅専用地域(人口6700人)から文化施設建設で商業地として活用される見込みがありません。先の見えない両「区画整理」事業の決算認定に反対しました。

45,224千円=戻る

一般会計補正の賠償(返還金)が、県営土地改良関係5事業で2億25万6千円。更に、合併支援道路整備事業の

究極のムダづかい

筑西幹線道路と諸川谷貝線で4千296万8千円が、本年度分として古河市に返還されました。景気低迷の中、合併特別債に群がり、公共事業を分け取りしたことの証です。

農業委員会レポート

9月12日、新農業委員による臨時総会を開催し、改選後の新会長と代理を選出しました。会長に中田義市氏、代理は山田新一氏と初見光宣氏です。9月25日に講習会を開催、県農業会議の本田部長を講師に、「農業委員会制度」「農業委員の仕事」などについて学びました。

市内横断バス運行事業

1800万円の豪華なバス待合室

市内横断バス事業は、古河駅東口(三和旧庁舎西側)を25分で結び「未来を見据えた都市基盤づくり」としてまいります。年間補助金750万円の運営は疑問です。

平成23年度実績

- 運航日数243日
- 運航本数 早朝4 夜間2
- 利用者数(年) 5247人
- 1日平均21.6人
- 運賃収入 1,904,410円

あきば議員の一般質問

文化施設は、破綻事業の延命 現計画の中止を

問

東日本大震災後、国も地方も、私たちの生き方も大きく変わり、多くの市民の皆さんが、反対している。

この事業、一旦、中止する考えはないか。

答弁(市長) 都市基盤を形成していく為、文化施設は不可欠で現計画の中止、凍結は考えていない。

いま学校で、何が！ いじめをどう防ぐ、超多忙な先生は

問

いじめが原因で、命を自ら絶つてしまうことが相次いでいるが、市内の学校での児童生徒の小さなサイン、子どもと触れ合う時間のない先生の平均退勤時間をつかんでいるか。

答弁(教育部長)

今年度は、増加傾向で、職員会議で情報交換もし、教育支援セン

問

市長は「この街づくりは、私の悲願」というが、毎日・茨城新聞の報道で、事業費60億円の損失、産廃処理費用、箱ものへの説明が不可欠としている。

文化施設の建設は、破綻した事業の延命であり、納得のいく十分な説明がないことが解職請求を招いているのではないか。

答弁(市長)

今後も市民の皆様にご理解がいただけるように、説明をしてまいります。

(「うそつき」「うそだ」と叫ぶ者あり) (一)内は、議会議事録より引用。



草が生い茂り、崩れている、中田新田「盛り土」

農業委員会の役割 中田新田盛土の違反への指導、勧告は

問

「改正」農地法によって、委員会の役割はどう変わったか。

この盛土問題、申請書類却下で違反が確定した。

こにもあり、なくならない。 いじめにどう対処したかなどを話し合えることが大事。

答弁(教育部長) いじめは、絶対に許されないと確たる考えで対応したい。

①学校教育は、工夫し子どもと接する機会を多くする。

②先生一人で悩まず、チームで対応するなど指導したい。

③家庭や地域と連携、人とのきずなを深め、相談窓口も工夫したい。

異常な議会運営に疑問

「埋め立て」だけで「トマト溶液栽培」は行わず、市有地の占有、近隣に迷惑等の対策は。 答弁(農業委員会事務局長) 貸借規制緩和の反面、農地転用、遊休農地の規制強化等、農地法4条、5条許可権限が県から移譲され、市が対応する。

東日本大震災という、大災害、生存の危機を目の当たりにして、何を優先すべきかは自明の理の筈です。ところが、古河市議会では「命」の議論より、市長の思惑に沿って、その施策に追随するという事態です。 日本の地方自治は、首長(市長)と議員がそれぞれ住民に直接選ばれる、二元代表制になつていきます。

すでに、204億円を(平23年度末)使っている合併特例債

| | |
|---|---|
| 合併特例債は、本当に有利な借金(債)です。 現在、通常の交付税も当てにならず将来が不安です。 これまで、学校耐震化等に充ててきましたが、大半が道路建設で使われました。 | 古河市の合併特例債は、平成22年度末で157億円、平成23年度46億円の合計で204億円を使っています。 その上、125億円の借金(銀行) |
|---|---|

- 「合併特例債」主な事業
- 道の駅
 - 総合的文化施設
 - バス購入
 - 市有蔵整備
 - 酒井蔵整備
 - 富岡蔵整備
 - 道路新設改良
 - 上辺見地区整備
 - 桜町上辺見・南町線
 - 筑西幹線道路
 - 新4号国道アクセス
 - 仁連江口線整備
 - 学校給食センター
 - 学校耐震化・改築(1小、6小、釈迦小、小堤小、古河1中)
 - ネーブルパーク/他

二元代表制は、どこ

双方が緊張関係を保ち、互いに抑制し合うことで、民意をきちんと反映させた政治・行政を実現させるのが二元代表制です。 首長選挙に勝利すれば、掲げた公約がすべて実現できるというものではない。 そうであるならば、議会が存在する意味がなくなつてしまいます。

議長は、自治体の最終意志決定の場(議事機関)で、執行機関へのチェック機能や立法機能(条例制定)を担います。一方、首長は、執行機関のトップで、

9/10 朝の館内放送 陸川副市長

市長リコールの署名、どれくらい集まるか不明だが、署名した人がいるとしたら、市の活動が住民に信頼されていないことになる。

署名数(茨城新聞) 51,898人 をどう 思いますか?

共同会派結成と 解消について

今議会の冒頭、「古河維新の会」と市議会運営に限定した諸問題で共同会派を組み、議会運営委員に選出されました。 しかし、党の県、地区委員会から指導があり、共同会派を解消することにしました。 一部、市民の皆さんにご心配をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。 尚、一致する課題、政策では、市民要求を実現する立場から共同、共闘を積極的に進めていく考えです。 市議会議員 秋庭繁